

香取市公共下水道事業 業務状況報告書

令和4年度 上期

令和4年4月1日から

令和4年9月30日まで

建設水道部下水道課

この業務報告書は、地方公営企業法第40条の2第1項及び香取市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例第10条の規定に基づき、令和4年4月1日から令和4年9月30日まで(以下「上期」という。)の業務状況を記載しています。

目 次

1	事業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	経理の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2～3
3	令和3年度決算の状況・・・・・・・・	4

1 事業の概況

(1) 業務

ア 汚水処理水量

令和4年度（上期）における汚水処理水量は、浄化センター2箇所の合計で2,189千 m^3 となり、令和3年度（上期）と比較し72千 m^3 の増となりました。

また、日平均汚水処理水量は11,962 m^3 となり、令和3年度（上期）と比較し1,003 m^3 の増となりました。

単位：千 m^3

区 分	汚水処理水量		比 較	
	令和3年度（上期）	令和4年度（上期）	増減	増減率(%)
佐原浄化センター	1,646	1,720	74	4.5
小見川浄化センター	471	469	△ 2	△ 0.4
合 計	2,117	2,189	72	3.4

単位： m^3

区 分	日平均汚水処理水量		比 較	
	令和3年度（上期）	令和4年度（上期）	増減	増減率(%)
佐原浄化センター	8,433	9,398	965	11.4
小見川浄化センター	2,526	2,564	38	1.5
合 計	10,959	11,962	1,003	9.2

イ 主な建設改良事業の概要

建設改良事業につきましては、上新町地内取付管改良工事（汚水取付管布設替え16箇所、雨水取付管布設替え24箇所）を実施しました。

2 経理の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出（消費税込み）

収入

単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率(%)
下水道事業収益	1,493,597	695,349	46.6
営業収益	577,594	393,536	68.1
営業外収益	916,003	301,813	32.9

収益（収入）は、主に下水道使用料及び雨水処理負担金として一般会計から繰入れるものを計上しており、予算現額に対する執行率は、46.6%となりました。

支出

単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率(%)
下水道事業費用	1,428,554	203,096	14.2
営業費用	1,379,179	180,799	13.1
営業外費用	47,942	22,282	46.5
特別損失	433	15	3.5
予備費	1,000	0	0.0

費用（支出）は、管渠、ポンプ場、浄化センターに係る修繕費、光熱水費等の維持管理費及び企業債利子償還金等を計上しており、予算現額に対する執行率は、14.2%となりました。

(注) 長期前受金戻入及び減価償却費は、年度末に執行のため上期は計上していません。

イ 資本的収入及び支出（消費税込み）

収入

単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率(%)
資本的収入	1,297,970	122,393	9.4
企業債	675,900	0	0.0
他会計補助金	118,100	118,100	100.0
国庫補助金	499,850	0	0.0
負担金及び分担金	4,120	4,293	104.2

収入は、主に企業債、他会計補助金（一般会計からの繰入金）、国庫補助金等を計上しており、予算現額に対する執行率は、9.4%となりました。

支出

単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率(%)
資本的支出	1,808,324	405,676	22.4
建設改良費	1,165,656	82,077	7.0
企業債償還金	642,668	323,599	50.4

費用（支出）は、管渠、ポンプ場、浄化センターに係る建設費及び企業債元金償還金等を計上しており、予算現額に対する執行率は、22.4%となりました。

ウ 事業収入に関する事項（消費税抜き）

収 入

単位：千円、%

科 目	令和3年度（上期）		令和4年度（上期）		比 較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	前年比
下水道事業収益	606,680	100.0	678,573	100.0	71,893	11.9
営業収益	346,264	57.1	376,761	55.5	30,497	8.8
営業外収益	260,416	42.9	301,812	44.5	41,396	15.9

エ 事業費用に関する事項（消費税抜き）

支 出

単位：千円、%

科 目	令和3年度（上期）		令和4年度（上期）		比 較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	前年比
下水道事業費用	191,626	100.0	191,099	100.0	△ 527	△ 0.3
営業費用	164,475	85.8	168,801	88.3	4,326	2.6
営業外費用	27,114	14.1	22,283	11.7	△ 4,831	△ 17.8
特別損失	38	0.0	15	0.0	△ 23	△ 60.5
予備費	0	-	0	-	0	-

(2) 損益計算書(消費税抜き、令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
下水道事業費用	666,375	下水道事業収益	980,475
営業費用	644,078	営業収益	376,761
営業外費用	22,282	営業外収益	603,714
特別損失	15	特別利益	0
上期純利益	314,100		
計	980,475	計	980,475

(注) * 減価償却費(475,277千円)及び長期前受金戻入(301,902千円)は、年度末に一括して執行するものですが、予算額の二分の一を執行見込額として、営業費用と営業外収益にそれぞれ計上しています。

(3) 貸借対照表(消費税抜き、令和4年9月30日現在)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	19,373,458	固定負債	5,490,011
流動資産	323,757	流動負債	378,769
		繰延収益	10,150,623
		(負債合計)	16,019,403
		資本金	2,303,569
		剰余金	1,374,243
		(うち当年度純利益)	(314,100)
		(資本合計)	3,677,812
計	19,697,215	計	19,697,215

(注) * 減価償却費(475,277千円)及び長期前受金戻入(301,902千円)は、年度末に一括して執行するものですが、予算額の二分の一を執行見込額として、固定資産と繰延収益にそれぞれ計上しています。

3 令和3年度決算の状況

(1) 業務の状況

処理区域内人口は22,278人、接続人口は18,405人で、処理区域内人口に対する水洗化率は82.62%、行政区域内人口に対する普及率は30.7%となりました。

有収水量は2,231.5千 m^3 となり、有収率は54.22%で、前年度より2.05ポイントの減となりました。

(2) 経理の状況

収益的収支の状況は、事業収益1,610,070千円に対し、事業費用1,559,055千円で、当年度純利益は51,015千円となりました。

また、資本的収支の状況は、資本的収入が509,076千円に対し、資本的支出は1,003,609千円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額494,533千円については、損益勘定留保資金等で補てんしました。

損益計算書(消費税抜き、令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
下水道事業費用	1,559,055	下水道事業収益	1,610,070
営業費用	1,503,850	営業収益	566,721
営業外費用	54,992	営業外収益	1,043,349
特別損失	213	特別利益	0
当年度純利益	51,015		
計	1,610,070	計	1,610,070

貸借対照表(消費税抜き、令和4年3月31日)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	18,822,214	固定負債	5,490,011
流動資産	203,680	流動負債	792,593
		繰延収益	9,726,327
		(負債合計)	16,008,931
		資本金	2,270,133
		剰余金	746,830
		(うち当年度純利益)	(51,015)
		(資本合計)	3,016,963
計	19,025,894	計	19,025,894